

平成31年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	2単位	第2学年	・ Viva! English Communication II ・ Viva! English Communication II 授業ノート ・ フェイバリット英単語・熟語 コーパス 1800 ・ フェイバリット コーパス 1800 チャンクマスター WORKBOOK ②

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことをもとに情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」「相手の伝える」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語の発音やリズム、イントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連したプリント等の別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<p>◆前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。</p> <p>◆◇天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。</p>	・ペアワークやグループワーク等のアクティビティへの参加度	<p>◆簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの、嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。</p>	・定期考査 ・授業プリント ・ペアワークやグループワーク等のアクティビティ	<p>◇◆ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を1文聞き取ったあと、リピートすることができる。</p> <p>◇ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の周りのことについて聞き取ることができる。</p>	・授業プリント ・ペアワークやグループワーク等のアクティビティ	<p>◇待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。</p> <p>◇簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を</p>	・定期考査 ・授業プリント ・ペアワークやグループワーク等のアクティビティ

						参考にしなが 理解すること ができる。	
--	--	--	--	--	--	---------------------------	--

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実 施 方 法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (14 時間)	Emoji Communications (アオイとベンが無料通話アプリでチャットをしています。私たちが普段よく使う絵文字でふたりのチャットは盛り上がっています…)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を使って JTE, ALT と積極的に話そうとする。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Classroom English の学習 口頭で英問・英答 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> JTE, ALT などと積極的に話そうとしているかどうか。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しようとしているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューシート等のプリントを用意し、JTE, ALT などの英問に対して、英答する。 生徒同士で活動する際はプリントを用意し、記録させる。それを評価に加える。 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 学習した語を用いて、自分の意見や、伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 各パートの練習問題に解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> SNS 等のコミュニケーションツールを通して、他者と意思疎通を図る際、絵文字を使用するメリット、デメリットについて考える。 日本と海外の絵文字の文化の違いを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> アオイとベンの対話を読み取ることができるようになる。 読み取った内容を自分で解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> この Lesson における重要な文法事項を理解する。【文型 (SVOO)】 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 文型 (SVOO) を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (14 時間)	<i>Kendamas</i> Worldwide (「けん玉ワールドカップ」について話をしていたアレックスとリエはけん玉の町を訪れ、インタビューをします…)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を使って JTE, ALT と積極的に話そうとする。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Classroom English の学習 口頭で英問・英答 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> JTE, ALT などと積極的に話そうとしているかどうか。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しようとしているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューシート等のプリントを用意し、JTE, ALT などの英問に対して、英答する。 生徒同士で活動する際はプリントを用意し、記録させる。それを評価に加える。 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 学習した語を用いて、自分の意見や、伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 各パートの練習問題に解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化であるけん玉について学び、それが海外でどういった影響を与えているかを読み取る。 けん玉で有名な廿日市のことについて学び、日本の伝統文化について学びを深める。 日本と海外の文化の違いを知り、学びをより深める。 	<ul style="list-style-type: none"> Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> アレックスとリエの取り組みを元に、本文の内容を理解できるようになる。 読み取った内容を自分で解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> この Lesson における重要な文法事項を理解する。【比較級】 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較級を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (14 時間)	I'm from Mars! (2015 年 9 月、火星に水が存在することが発表されました。人類は火星で生活することができるのでしょうか…)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を使って JTE, ALT と積極的に話そうとする。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Classroom English の学習 口頭で英問・英答 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> JTE, ALT などと積極的に話そうとしているかどうか。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しようとしているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューシート等のプリントを用意し、JTE, ALT などの英問に対して、英答する。 生徒同士で活動する際はプリントを用意し、記録させる。それを評価に加える。 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 学習した語を用いて、自分の意見や、伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 各パートの練習問題に解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 火星を含む、太陽系のことについて学ぶ。 火星へ行く計画や、地球と火星の似ている点を学び、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 他の教材を使用し、内容に関する背景知識を深める時間を十分に確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を理解する。この Lesson 内容は、専門的な知識も含むため、教科書だけでなく、他の教材も用意し、知識を深めるようにする。 読み取った内容を自分で解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> この Lesson における重要な文法事項を理解する。【現在完了】 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (14 時間)	Appli Koshien (「アプリ甲子園」 は 2011 年にスタートしたスマートフォンアプリ開発コンテストです。 毎年多くの生徒が参加しています…)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を使って JTE, ALT と積極的に話そうとする。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Classroom English の学習 口頭で英問・英答 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> JTE, ALT などと積極的に話そうとしているかどうか。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しようとしているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューシート等のプリントを用意し、JTE, ALT などの英問に対して、英答する。 生徒同士で活動する際はプリントを用意し、記録させる。それを評価に加える。 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 学習した語を用いて、自分の意見や、伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 各パートの練習問題に解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> アプリ甲子園の概要について学ぶ。 そこで優勝したアプリ「OCTAGON」について学ぶ。 アプリ甲子園出場生徒がどのように成長したのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 自分がアプリ甲子園に出場したとして、どのようなアプリがあれば良いかを考え、発表する機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> アプリ甲子園について学び、理解する。 読み取った内容を自分で解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。 プレゼン形式で、自分の意見や考えたことを発表する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> この Lesson における重要な文法事項を理解する。【助動詞】 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (14 時間)	Things Have Souls. (使いやすさと美しさを両立させるデザインを「インダストリアルデザイン」と呼びます。その先駆者、榮久庵憲司さんの「ものづくりの思い」を見てみましょう…) 	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を使って JTE, ALT と積極的に話そうとする。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Classroom English の学習 口頭で英問・英答 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> JTE, ALT などと積極的に話そうとしているかどうか。 ペアワーク、グループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しようとしているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューシート等のプリントを用意し、JTE, ALT などの英問に対して、英答する。 生徒同士で活動する際はプリントを用意し、記録させる。それを評価に加える。 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 学習した語を用いて、自分の意見や、伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 各パートの練習問題に解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのためのよいツールである例や理由を簡単な英語で表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 榮久庵憲司さんの経歴や活動を元に、そこからデザインするというのがどのようなことなのかを学ぶ。 実際の榮久庵憲司さんのデザインを観察し、どういう思いでデザインしているのかについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 本文中から読み取った情報を元に自分の考えをまとめ、良いデザインとはどういうものなのかを生徒同士でまとめ、班で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 良いデザインとは具体的にどのようなものを指すのかを本文から読み取り、まとめることができるようになる。 読み取った内容を自分で解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。 班で発表する機会を設け、その発表内容を評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> この Lesson における重要な文法事項を理解する。【seem to / 疑問詞+to 不定詞 / it seems that】 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> この Lesson での文法事項を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。